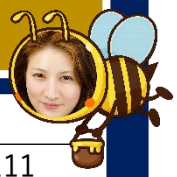
例会日 2026.10.6　No.1851

三条北ロータリークラブ
WEEKLY REPORT：週報

No.10

オラインカ・ハキーム・ババロラ RI 会長
「持続可能なインパクトを生み出そう」
～CREATE LASTING IMPACT～

第 2560 地区：富山　洋 ガバナー　「ロータリーで人生をより充実させよう」
三条北 RC：齋藤孝之輔 会長　「つながりを力に、未来へつなぐ」
～人と地域と、自分を豊かに～



会長：齋藤孝之輔　幹事：野崎喜嗣　SAA　大橋桂子
例会日：火曜日　12：30～13：30　例会場：三条ロイヤルホテル　TEL　0256-34-8111

◆本日の行事：
「公式訪問事前訪問・クラブ協議会」
◆本 日 の 出 席：４２名中２６名
◆先々回の出席率：４２名中３７名 86.05%
（前年同期 61.70%）
◆本日のゲスト：
ＲＩ第 2560 地区第４分区
ガバナー補佐　長澤 敬一 様（加茂ＲＣ）

＊本日の配布書類等
・ロータリーの友 10 月号
・月信９月号（閲覧）
・週報 No.1850（HP）
・クラブ現況報告書

◆先週のメークアップ(敬称略)：
10/2 第４分区ガバナー補佐職務についてのヒアリング
齋藤孝之輔、野崎喜嗣
10/3 新発田城南 RC 創立 60 周年記念式典
米山忠俊、齋藤孝之輔、石川一昭
野崎喜嗣
10/3 赤い羽根共同募金の街頭募金
長谷川千佳、石黒隆夫
10/5 三条南 RC　小林伸行

会長挨拶：齋藤孝之輔 会長

皆さん、こんにちは。本日は、長澤ガバナー補佐にお越しいただいております。お忙しい中、ガバナー公式訪問の事前訪問ということでご来訪いただき、誠にありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

10 月に入りました。衣替えの時期ですが、気象庁の予報では、今月も全国的に気温が高い見込みとのことです。暦だけでは服装を決めにくい季節になりました。朝晩と日中の気温差もありますので、体調には気をつけたいところです。

さて、先週 10 月２日、第４分区の会長・幹事を対象としたヒアリングが、富山ガバナーご自身の呼びかけで開催されました。主な話題は、ガバナー補佐の役割と負担、そして分区の再編についてです。ガバナー補佐は責任も重く、引き受ける方を見つけることが難しくなっています。複数名で役割を分担できないかという案も含め、今後のあり方について意見が交わされました。

賛成、反対、それぞれにさまざまな意見があり、どちらか一方にまとまったということではありませんでした。

ただ、私が気になったのは、意見の伝え方です。「ロータリーとはこうあるべきだ」という考えから、今回の相談そのものを否定するような発言もありました。強い口調のやり取りが続き、その勢いに議論が引っ張られる場面もあって、正直、聞いていてつらく感じました。

長くロータリーに関わってこられた方の考えや、これまでの仕組みを大切にする気持ちは、よく分かります。一方で、今回は結論を押しつける場で

はなく、困っていることをどう解決するか、相談するための場だったと思います。

私からは、人口減少や社会環境の変化がある中で、考え方や運営にも、現実に応じた柔軟さが必要ではないかと意見を述べました。これまでのやり方をそのまま求め続ければ、引き受ける人がいなくなるだけでなく、引き受けたくてもできなくなってしまう。そうしたことも考えておく必要があると思います。

役割の分担や分区の再編が最善かどうかは、十分に話し合うべきことです。ただ、課題を相談すること自体は大切にしたい。意見が違っても、落ち着いて話せることが、これからのロータリーには必要だと感じました。

そして翌 3 日には、新発田城南ロータリークラブの創立 60 周年記念式典に出席してまいりました。会場はホテル華鳳で、当クラブからは米山パストガバナーをはじめ、私と幹事、石川さんが参加させていただきました。厳粛でありながら盛大な、大変立派な式典でした。60 年という長い歴史を、代々の会員の皆さんがつないでこられたことに、改めて敬意を感じました。新発田城南ロータリークラブの皆様に、心よりお祝い申し上げます。

先週は、これからの運営を考える場と、長年の歩みを祝う場の両方に参加しました。これまで築かれてきたものを大切にしながら、次の人が引き継げる形を考えること。その大切さを感じた二日間でした。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告：野崎喜嗣 幹事

・地区ロータリー財団委員長より、「補助金管理セミナー開催のご案内」
　日時：11 月 28 日(土)12：30～16：00　会場：ホテルイタリア軒
・三条 RAC より、「10 月第二例会のご案内」
　日時：10 月 15 日(木)19：30～21：00　会場：まちやま

第 4 回　役員理事会議事録	
開催日時	令和 8 年 10 月 6 日（火）11：30～12：30
開催場所	三条ロイヤルホテル
出席者	出席数　17 名（委任状 1 名）/17 名
	齋藤孝之輔、田口実仁佳、松山浩仁、野崎喜嗣、佐藤義英、大橋桂子、羽賀一真 石川一昭、武田恒夫、田崎尚志、森　宏、伊藤博之、白倉　猛、福岡信行、吉川将人 長谷川千佳、石黒隆夫

協議事項	協議結果	
1. 「ナイトクルージング例会」決算案の件		承認
2. 新潟中央ＲＣ「2026-27 年度タイに医療機器を贈るグローバル補助金プロジェクトご参加とご協力のお願い」の件	次回再審議	継続
3. にいがた緑の百年物語緑化推進委員会 「令和 8 年度 秋期『緑の募金』ご寄付のお願い」の件	例会でＢＯＸを回す	承認
4. 社会奉仕事業「三条駅東口改札推進活動」の件	次回、予算とスケジュール審議	継続
5. その他		報告

ロータリー財団 BOX

１０月６日現在累計　１７１，０００円

野崎 喜嗣 君　第 2560 地区第 4 分区ガバナー補佐 長澤敬一様、本日はよろしくお願い致します。
羽賀 一真 君　ガバナー補佐 長澤敬一様を歓迎して。
石黒 隆夫 君　第四分区ガバナー補佐 長澤敬一様、本日は公式訪問事前訪問 クラブ協議会にお越しいただき誠にありがとうございます。ご指導よろしくお願い致します。
武田 恒夫 君　長澤敬一様、本日はよろしくお願いします。
渕岡　茂　君　長澤ガバナー補佐、1 年間宜しくお願いします。
石川 一昭 君　長澤ガバナー補佐、ようこそ北 RC へ、ご指導よろしくお願い致します。
森　宏　君　第四分区ガバナー補佐 長澤敬一様を歓迎して。

渋谷 義徳 君　長澤敬一ガバナー補佐様、本日はお世話になります。
岡田 大介 君　協力。
長谷川千佳 君　協力します。
石川 友意 君　長澤ガバナー補佐を歓迎して。

米 山 奨 学　ＢＯＸ

１０月６日現在累計　　８７，０００円

星野 義男 君　米山奨学に協力します。
渕岡　茂　君　長澤ガバナー補佐、1 年間宜しくお願いします。
森　宏　君　協力します。
落合 益夫 君　協力します。
吉川 将人 君　協力します。
長谷川千佳 君　協力します。
田崎 尚志 君　ＢＯＸに協力。

ス マ イ ル　Ｂ Ｏ Ｘ

１０月６日現在累計　　２４１，２００円

第 4 分区ガバナー補佐 長澤敬一様より、ご協力いただきました。
渕岡　茂　君　本日は、長澤ガバナー補佐、宜しく御指導下さい。
齋藤孝之輔 君　長澤ガバナー補佐様、本日の「クラブ協議会」どうぞよろしくお願い致します。
長谷川千佳 君　石黒さん、先日赤い羽根お手伝いありがとうございました。吉川さんに奉仕プログラムセミナー行っていただき助かりました。長澤さん宜しくおねがいします。
米山 忠俊 君　長澤ガバナー補佐様、事前訪問有難うございます。
森　宏　君　ベイスターズ勝率 5 割達成、ＣＳ頑張れ。
田口実仁佳 君　長澤ガバナー補佐、本日ご指導よろしくお願いします。
石川 一昭 君　長澤ガバナー補佐、ようこそ北 RC へ。ご指導よろしくお願い致します。
落合 益夫 君　ＢＯＸに協力。
佐藤 義英 君　ＢＯＸに協力‼
星野 義男 君　協力します。
伊藤 博之 君　協力します。
石川 勝行 君　長澤ガバナー補佐、本日のご指導よろしくお願い申し上げます。
武田 恒夫 君　先週、大阪のよみうりカントリーでゴルフでした。ついでに阪神の優勝の翌日でしたので、阪急百貨店で記念グッズを買いたかったのですが、入るのに 3 時間～4 時間待ちであきらめました。
松山 浩仁 君　長澤ガバナー補佐、本日はよろしくお願いします。

本日の行事：「公式訪問事前訪問・クラブ協議会」

2026-27 年度 事業計画発表

齋藤孝之輔 会長

本年度の三条北ロータリークラブの主要目標について、ご説明いたします。

今年度のテーマは、「つながりを力に、未来へつなぐ」副題として「人と地域と、自分を豊かに」を掲げています。会員同士のつながりを深め、その力を地域への奉仕に生かし、これからのクラブにつなげていく。その中で、会員自身もロータリーに参加する喜びや、学びを得られる一年にしたいと考えています。

				進行： 幹事 野崎喜嗣	
クラブ協議会	13：00	(8)	2026-27 年度 事業計画発表	会長	齋藤孝之輔
		(4)	ロータリーラーニング 委員会	委員長	森　宏
		(4)	職業奉仕 委員会	委員長	吉川 将人
		(4)	社会奉仕 委員会	委員長	長谷川千佳
		(4)	クラブ戦略 委員会	委員長	石黒 隆夫
	13：25	(15)	ご指導・質疑応答・講評	ガバナー補佐	長澤 敬一 様
	13：40	(5)	閉会の挨拶	会長	齋藤孝之輔
	13：45		閉会点鐘	会長	齋藤孝之輔

RIのテーマ「持続可能なインパクトを生み出そう」、富山ガバナーの地区テーマ「ロータリーで人生をより充実させよう」を、私たちのクラブで具体的に進めていくため、次の四つを重点とします。

一つ目は、参加する楽しさを感じられるクラブづくりです。三条北の良さは、会員同士の距離が近く、親睦や同好会などを通じて自然に交流できるところにあります。この良さを大切にしながら、例会や事業にも参加しやすい雰囲気をつくっていきます。年度の初めに「楽しんだ者勝ち」という言葉を使いました。役割を負担として受け止めるだけではなく、自分なりの工夫や楽しみを見つけて取り組む。その積み重ねが、クラブの活気につながると考えています。

二つ目は、学びを日々の仕事や生活に生かすことです。ロータリーには、さまざまな職業や経験を持つ会員が集まっています。例会での話や会員同士の交流から、自分だけでは気づかなかった考え方に触れることができます。

ロータリーの理念への理解を深めるとともに、職業奉仕を自分の仕事に結びつけて考える機会を大切にします。学んだことが日々の判断や行動に生きることで、ロータリーに所属する意味も、より実感できると思います。

三つ目は、地域に必要とされる奉仕を続けていくことです。地域の方々とのつながりを大切にし、相手が何を必要としているのかを知ることから始めたいと考えています。

これまでの活動も、その目的や効果を確かめながら、次につなげていきます。活動を行ったことで、地域にどのような役に立ち、その後に何が残るのか。そうした視点を持って、私たちのクラブとして続けられる奉仕に取り組みます。

四つ目は、会員増強と、入りやすく続けやすいクラブづくりです。会員増強は、今後のクラブ運営に欠かせない課題です。会員が減れば、一人ひとりの負担が増え、事業や予算にも影響します。活動を続けるためにも、新しい仲間を迎えることは重要です。

予算を考えるうえでは、会費の値上げを選択するクラブもありますが、現在の会費も決して軽い負担ではありません。当クラブでは、以前から例会日数の削減や参加負担金の見直しなどを行ってきました。今後も、限られた予算をどう生かすかを考え、活動の充実と会員の負担に配慮しながら、入会しやすく、継続しやすい環境づくりに努めていきます。

会員増強に向けては、まず私たち自身がクラブの良さを実感し、それを外にも伝えていく必要があります。例会や活動に触れていただく機会をつくり、入会後もなじみやすいよう、会員同士で声をかけ合っていきます。会員の声を聞きながら、クラブの良さを残し、見直すべきところは見直していきたいと考えています。

以上が、本年度の主要目標です。

この後、ロータリーラーニング委員会　森宏委員長、職業奉仕委員会　吉川将人委員長、社会奉仕委員会　長谷川千佳委員長、クラブ戦略委員会　石黒隆夫委員長から、それぞれの方針と取り組みをご説明いただきます。各委員会の取り組みをクラブ全体で支え、会員同士のつながりを地域への力に変えながら、次の年度へつないでまいります。

以上です。

ロータリーラーニング委員会
森　宏　委員長

旧ロータリー情報委員会は、新入会員へのオリエンテーションが主な目的で、座学で実施しておりましたが、国際ロータリーが自ら学ぶラーニングの形式を取り入れるようになったことから、まずメンバー全員がマイロータリーに登録し、自主学習を行ってもらいます。その上で新入会員のみならず、入会数年以内の会員、あるいは改めてロータリーに関する知識を深めたい会員、これからクラブリーダーを担う会員に、経験年数を問わず広く参加を募り、ラーニングの機会を設けていきます。

昨年度の三条市内４ロータリークラブ会長幹事会で話し合い、今期から合同ラーニング委員会を設立することとなり、１０月３１日にその立ち上げの会を行うことになりました。地区ラーニング委員会クラブ支援担当である、三条ロータリークラブ関川博様にご協力をお願いして、４ロータリークラブのラーニング委員、ならびに各クラブの会長幹事の皆様と共に、ラーニングの進め方を話し合い、その後各クラブにその方法を持ち帰って、実践していく予定です。

職業奉仕委員会
吉川将人 委員長

来年(2027年)1月末に三条市立大学での講演会開催を企画しております。

まず、当初検討していた案（クラブ現況報告書記載 p. 51）に修正・調整の必要があり、対応中です。

大学側担当者に問い合わせた結果、ちょうどスケジュールが受験シーズンにかかり、繁忙期でドタバタしている時期とのことでした。そこで当初企画の学生さんとの交流は見合わせ、経営者の皆さんに一般に役立つ、地域経済の未来像や動向に関する講演へ変更するつもりです。この三条地域も多分に漏れず、人口減少問題をはじめ様々な問題を抱えていると思いますので、参加しがいのある内容で企画したいと考えております。

まだ講演内容については、変更の余地もありますので、ご意見やご提案がありましたら、お声がけください。

社会奉仕委員会
長谷川千佳 委員長

既にやった事業として、先日、10月４日に赤い羽根共同募金に、北ロータリーからは、石黒さんにもご協力頂き、ウオロク興野店に立ち、募金活動を１時間行いました。募金額集計結果はまた後日事務局に連絡があると言われていました。石黒さん、心良くお手伝い引き受けていただき、有難う御座いました。

２つ目は、夏休みに三高生徒からの依頼もあり、前年度に引き継ぎ、羽賀前会長、実行委員の松山さん、外山さんの３人で、三条東口改札口自動化に向けての動きも、継続事業として、やっていきます。三条新聞一面に掲載していただきましたので、これから、署名活動の方も併せて行って行きますので、皆様ご協力宜しくお願い致します。

３つ目は、１１月に三条マルシェでのポリオワクチンの募金活動です。三条ロータリーが今回は主担になりますが、４日に担当者の社会奉仕委員長にマルシェの日付を確認しましたが、ちょっとわからない。との回答でしたので、調べてもらいます。

４つ目は１２月クリスマスケーキをフードバンクに寄付させていただきます。物価高できっと買う事が無いご家庭にも届けてあげれる事を願っています。

５つ目は、今年度メインの行事になります。三条祭の稽古道具の寄贈になります。こちらは、補助金申請がおりましたので、作成をお願いしています。

齋藤会長も毎年関わる三条祭りで、大名行列の先頭を率いる先共さんにジェンダーレスの時代に合わせて初の女性が去年から加わり、市民からも大変注目されています。また稽古道具が何十年も使われていて古く、重たい為、新しく作り寄贈させていただき、三条祭りを盛り上げて行きたいと思います。また寄贈の時には、皆様のご参加協力もお願い致しますので、どうぞ宜しくお願いいたします。社会奉仕委員長からは、以上となります。

クラブ戦略委員会
石黒隆夫 委員長

例会回数の減少、出席率の不問、メーキャップ（記帳）の有効期限の延長、公式訪問の合同化、家庭会合（ファイヤーサイドミーティング）の簡素化などRI、地区、クラブ共に事業合理化の消極的方針の結果を改善するため活性化の指令をクラブ戦略委員会が受けているのかと思います。クラブ戦略会議の開催、クラブ戦略成功例の卓話など入会歴１０年そこそこの委員長が考える事より１００年以上の歴史の中で先人が考えたファイヤーサイドミーティング（家庭会合）に注目しました。現在は１年に１回行う形式的な行事になりましたが、クラブについて気軽に語り合える少人数による会合を回数に制限なく通年行う事が地味ですが本来のクラブ活性化に繋がると考えました。実績として８月と９月の２カ月間で５回、各１０名程の参加で参加率は90%以上でした。これから２回目の企画を考えますが１回目とは違う少し味付けがしたいと思い意見を募集しています。

「講評」　ＲＩ第 2560 地区第４分区ガバナー補佐　長澤 敬一 様（加茂 RC）

まず、9 月 12 日に行われましたＩＭでは、米山パストガバナーをはじめ皆様においでいただきありがとうございました。ＩＭはガバナー補佐が主催するものでございますが。当日はガバナーが残念ながらお越しになれませんでした。長岡の第 5 分区と日程が重なり、ガバナーもお困りになりどちらも行かないようにされたという事情についてはご理解いただきたいと思います。

それから、先ほど 4 クラブ合同のラーニング委員会の話がありました。それぞれが自分自身の考えをしっかり持って参加していただくことが大切だと思います。

私も何回か長岡で行われたものにも参加し、講義を受けました。「すごい人がいるんだな」と思いながら聞いていましたが、実際に自分が現場に立ってみると、いろいろな意見もあると思いますが、少し私の意見とは違うと感じる部分もありました。

そもそも、3 年ほど前からガバナー補佐は「1 クラブ 4 回行きなさい」という話があります。RI の指導によるものかもしれませんが、ラーニングではそのように言っていました。以前はガバナー補佐は公式訪問の前に来て、その後ガバナー公式訪問に来られて、それである程度終わっていたように思います。私は、ガバナー補佐はそういうものだと思って気軽に引き受けました。

では、なぜ今年度は合同公式訪問なのかというと、富山ガバナーは旧六日町なわけです。ですから、1 クラブずつとなると、移動そのものや、お若いのですが体力的に大変だということがあります。そのため、2 年前の形式と同じ形式で設けたいということでお話をいただきましたので、我々としてもそういう話を聞けば、皆さんにもお話をしなければならないと思っています。合同でやらせていただきますので、どうか見附の方へお集まりいただいて、見附クラブをフォローしていただきますようよろしくお願いいたします。

クラブ活性化、クラブ戦略についてのご質問ですが、逆に、高齢化について心配のあるクラブがあります。私も決して若くはありませんが、私より先輩の方々が多くいらっしゃるクラブでは、どうしたらよいのかという問題があります。

やはり若い人を入れていくことが必要ですが、入会してもらった後に、家庭会合などを行い、新しい方のフォローを行うことが大切なのではないかと思います。

一番大事なのは、そうした場で、議論を誘導するようなものではなく、きちんと説明していただくことだと思います。これから、訪問するクラブでは、そういった事を質問してみたいと思います。

ただ、なかなか皆さん苦労されているようです。やはり、それを乗り越えて、できるだけお知り合いの方を勧誘し、入ってからはフォローしていただくことが必要だと思います。

指導なんてなかなかできないのですが、クラブを実際に回ってみると、ロータリークラブがどういう風に向かっていくのか、前向きな発想よりも、若干不安になる要素が多いようにも感じます。高齢化、会員減少然りです。あるクラブでは、現在ほとんど活動休止状態ですが、以前は 38 名くらいいた頃もありました。うちのクラブも現在では 3 分の 1 ほどになってしまっています。

その辺は、人口減少だけの問題ではなく単に一つの問題として考えるのではなく、やはり会員数も必要なのだと思います。

皆さんお一人お一人は十分に危機感を持っておられると思いますが、最後は会長をはじめ、皆さんが一緒になって取り組んでいくことが必要です。三条には 4 つもクラブがありますので、難しいかもしれませんが、よろしくお願いしたいと思います。

私自身、これまであまりそのようなことを意識していなかったのですが、他のクラブの状況を見て、改めて感じたところです。

話しはまとまりませんでしたが、来週は公式訪問が行われますので、どうか皆様にお力添えをいただき、支えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、本日はどうもありがとうございました。